



碧南ロータリークラブ週報

第2238回例会 平成16年9月22日(水) 曇. 最高28.3℃. 最低20.6℃

- 会長 池田 弘孝 ● 幹事 黒田 昌司 ● SAA 小笠原良治
- 例会日 毎週水曜日 12:30 ■ 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90
TEL <0566> 41-1100 FAX <0566> 48-1100
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 会報委員 鶴田光久・杉浦昌裕・石川唯司・竹中 誠

ロータリーを
祝おう

100年の歩み

2004~2005年度
国際ロータリーのテーマ



● 斉 唱

ロータリーソング 「ロータリー讃歌」

● 本日のメニュー

和風弁当 とんがり帽子

会 長 挨拶



池田弘孝会長

最近の映画やテレビのドラマでは純愛ものが人気が高いそうです。いまの時代背景とどう繋がるのかよくわからないそうです。韓国の俳優ヨン様の影響が多いようです。日本の奥様方での韓国ツアーが人気だそうです。今日22日は夫婦の日です。

1911年9月22日丁度93年前の今日、坪内逍遙を会長にした文芸協会が芝居でノルウェーの劇作家イブセンの「人形の家」を初演しました。

その一節で「私は実家で父の人形っ子だったように、この家では貴方の人形妻でした。そして今度は、子供たちが私のお人形になりました。

これが私たちの結婚生活だったんです。・・・私はまず、自分自身を教育しなければならないのです。・・・あなたのようなお方にお手伝い願うことはございません」

女はこう言って、ドアをパタンと閉めてでていく。イブセンの「人形の家」の最後のシーンです。

舞台の上であれ、人妻がみずからの足で立とうとする別離の宣言は、前代未聞のこと。93年たった今は日常茶飯的に人妻が同じようなセリフを言って、男を捨てる時代になりました。特に定年後の男は、ひとごとでなく相当の注意が必要です。今年度のロータリークラブ退会防止の一つに家族委員会が設けられました。家族との絆をいっそう深められますようお願いいたします。

副 幹 事 報 告

他クラブの例会変更につきましては、お手元の資料の通りです。

愛知万博・ロータリー館運営委員会の報告をします。

10月末に竣工し、来年2月までは施工の矢作建設が管理をします。協力金については、34地区の内、23地区が協力金を提供した。金額は1万から多い所では1千万円です。我々の2760地区は1億8千万円で、現在計2億4千万円です。地区内の状況は昨年未納が1クラブ、本年未納が4クラブです。昨年も今年も出してないのが、地元の長久手クラブだそうです。碧南クラブは昨年51万円、本年75万円です。建設費は工事費1億8千万円、運営費1億~1億2千万円ですから、現在4~6千万円不足しています。企業から1社5万円以上お願いし、1千万円予定してます。

国税局にお願いし、損金計上できます。よろしくお願ひします。

また、ロータリー館の利用は各クラブ2回以上してほしいとのことですので、4月24日家族例会と、9月7日(水)に例会を予定しています。



亀山裕一副幹事



創立45周年記念事業会計報告をされる
奥谷弘和会計

委員会報告

総会員数 75名 (内出席免除者 15名) 出席者 59名	
出席対象者 49/60名	出席率 81.7%
欠席者 16名 (病欠者 0名)	前々回修正出席率 96.7%

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

〈ニコボックス委員会〉

加藤 良邦君 お陰様にて秋彼岸法要本日より始まりました。

鈴木 並生君 うれしいことがありました。

小笠原良治君 先週は失礼しました。

清澤 聡之君 約2年ぶりのゴルフでした。無事ラウンドができました。幹事の一人として、参加者の方々にお礼申し上げます。特に鶴田さん、新美惣英さんご迷惑お掛けしました。

岡本 明弘君 9月19日、暴風雨の中、大変貴重な経験をする事ができました。

那波 宏志君 本日卓話をさせていただきます。宜しくお願いします。

早退7件 合計25,000円

〈環境保全委員会〉

緑の羽根募金運動が、9月1日より10月31日まで始まっています。本年度、愛知県では920万円を目標としています。緑化の推進、森林の整備など地球環境保全に役立てます。

碧南RCでは、昨年度は33,280円の協力がありました。

今年もよろしく協力をお願いします。

〈社会奉仕委員会〉

11月13日(土)～14日(日)に開催の、市民ふれあいフェスティバル・チャリティバザーの販売品ご寄贈のお願いが、碧南市民生委員会児童委員協議会よりありました。10月6日(水)・10月13日(水)の例会時に、1人1点以上お持ち下さるようお願いいたします。

卓話

自分史 51年 碧南RC会員 那波宏志君

皆さん、こんにちは。

まずは、最初に私の姓についてお話したいと思います。

なかなか“那波”という姓は聞きなれないのでまずはじめて会った人は“どこの出身ですか”と聞いてきます。

私の実家に“那波家の系図”があるというので、先日ちょっと見てみました。

以前、校長先生をやっていた私のおじさんが長い期間かけて、お寺のいろいろな書物を紐解き、つくりあげたそうです。それにより、私の先祖をずっとたどっていきますと約 500 年前の天安 2 年（1518 年）即位された、人皇 56 代、清和天皇惟人という人が先祖だということまでわかりました。その子供の貞純親王を経て、私の祖父である源作が 33 代目にあたります。ですから、私自身は清和天皇惟人から 35 代目の子孫となるわけです。



那波宏志君

その中で“那波”の姓は 9 代目に初めてでてきており、那波左京亮という人物が“那波”の起源みたいです。

以前、おじさんに聞いたときには、場所としてはどうも奈良の方に住んでいたとのことでした。このことから、那波一族は沖縄のうまれでもなく、まぎれもなく本州の生まれというわけです。

私は 1953 年生まれで、いわゆる、花の 28 と呼ばれた年に生まれました。生まれは岐阜県羽島郡岐南町、名岐バイパス 22 号線の木曾川を渡ったところにあり、オグリキャップで有名な笠松競馬が近くにあります。

現在は刈谷市井ヶ谷町に住んでおり、近くには洲原公園や天然記念物のカキツバタ群生地があります。家族は妻と子供 3 人、上は大学 3 年生、中は高校 3 年生、下は中学 3 年生とちょうど 3 学年ずつ離れており、来年は 3 年ぶりの受験がまたやって来ます。

入社は 1977 年 オイルショックの後の年で、前年は求人 0 と非常に厳しい年でした。生まれは岐阜ですから 会社の寮に、7 年間、2 人部屋で暮らしました。

入社してから 8 ヶ月間は工場実習で 当社のすべての工場で実習を行いました。ブースターの組み付け・モールの加工・クラッチのライン検査・編み機の組み付け・ダイキャストの検査・ミッション組み付けといまでもはっきり覚えています。配属は年明けの 1 月 6 日に発表され、私は技術第 4 部というところに配属されました。そこでは主に車体系の部品を設計しており、私の担当はシートの設計でした。配属され 2 ヶ月で 得意先に出向し、そこでいろいろ教えていただきました。

そこで一番初めに開発したのが、フロントシートのパワーシートでした。開発が終わり車が発売された時は、すぐにディーラーに行き、自分の開発したパワーシートをどきどきしながら、見に行ったことは今でも忘れません。その後、パワーシート、リクライニングアジャスタ、チルトアジャスタ等の開発を続け、2 年半後に自社に戻りました。得意先に出向していた時、本当にいろいろな人と出会い、教えてもらい、助けてもらい、育ててもらいました。

今でも本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

その 2 年半の期間が今の私をつくったと言っても過言ではないと思います。その後、スポーツシートの開発やアジャスタ・パワーシートの開発を行っていましたが、急遽工場への教育出向となり、シート関係を作っていた工場へ移動しました。工場はまったく知らない世界であり、品質に関してもまったくわからない状態でしたが、担当製品がシートだったということから何とかやり切れたと思っています。

4 年後、再度設計へ復帰し、それからはパワーシートの開発 1 本で進んできました。私の夢であった“大衆車までパワーシートをつけよう”という夢も 91 年に叶えることが出来ました。

また、開発の中で出願した特許で、98 年愛知発明賞と中部発明賞をいただくことが出来ました。

私は入社以来ずっと設計・工場を通してシートに携わってきたのですが、折角ですからシートについて少しお話をしたいと思います。

まず、車のシートというものは車の中で一番人に近いものであり、かつ、非常に重要なものです。シートの基本機能としては主として 2 つの機能があり、それは人の身体を保持することと

調節することです。

人間の身体を保持するということでは、車が衝突した時に、いかに人間を守るかが最大の課題になっています。それは当然、エアバックやシートベルトとの相互関係により安全性を作り出すということですが、その中で当社がつくっているアジャスタもどんどん高強度化がはかられてきました。リクライニングでいえば入社した70年代には片側リクライニングが80年代には両側に変わり、現在ではさらに強度アップがはかられています。

また、高級車ではベルトを取りやすくするため、ドア側のベルトアンカ位置をシート付けにしています。しかし、ベルトアンカをシートにつけることにより当然ベルトの入力がアジャスタに入ってくる為、その分アジャスタ側への入力が増大し更なる強度アップが必要になっています。そのために、強度部材の高張力化や板厚アップ・断面形状の工夫等で対応しています。もうひとつはシートの位置を調整するという事です。

いかにやりやすく調整できるか、ということで年代と共にいろいろ方式が変わってきており、調節の方法としては大きく分けて手動式と電動式の2種類があります。

まず、調整ピッチですが、調整しやすくするためピッチが小さくなってきています。

また、シートの動かし方もクッションチルト方式・シートASSYでのチルト方式・リフター方式の3種類があります。これらは車格・コスト・強度・スペース・仕様等でいろいろ異なります。しかし、最終的には無段で調整するのが一番よく、いわゆる、パワーシートがそれにあたります。また、さらにボタン一つで自分の運転位置を再現してくれるメモリー付パワーシートが究極となるわけです。しかし、パワーシートの最大のメリットは安全性です。パワーシートの機構は常時噛合いで成り立っているため、どんな時でも安全な状態を保っています。通常のマニュアル式は調整する時、一度はロックを外さなければなりません。パワーシートは動かしている時も必ず噛合っている状態で動いています。

将来シートの機能としては安楽機能・シートアレンジ等が予測されます。安楽機能とは疲労を低減する機能をつけたもの、たとえば、リヤシートでのマッサージ機能みたいなものや、今後は長距離等の疲労低減・眠気防止等の機能が出てくることも予測されます。

また、シートアレンジでは回転シート・ロングスライドレール等がありますが、今後はラゲージメイクの必要性が非常に高くなってきています。多くの人を乗せる時はシートになり、通常は格納してラゲージという車が出始めてきています。今後、それが電動化されることより、さらに便利なものがでてくるのではないかと思います。但し、このような製品が出てくるためには、いろいろ解決しなければならない技術課題が多くあります。特に安全性が一番の課題になってくると思われます。そこをどううまく考えるか、は設計者のアイディア次第であり、非常に難しいところでもあります。

以上お話しましたように、簡単にシートと言っても人に一番近い存在であるが故に、難しいところがたくさんあるということがわかっていただけたでしょうか。私の趣味ですが、あまりこれといってありませんが、強いて言うなら今のところ多少進歩が出てきたゴルフと3年前からはじめたジョギングです。ある時、仕事上で得意先と話をする時の話題がなく、なんとか話題づくりができないかということで友達に教えてもらったのがきっかけでした。実際、ゴルフをはじめたおかげで得意先だけでなく、いろいろな人と会話が出来るようになり、ゴルフをやってよかったと思っています。スコアは100前後でずっときましたが、最近やっと80台がでるようになり、ちょっと面白くなってきました。

もうひとつはジョギングですが、これは3年前の夏休み初日のゴルフで大好きなビールが半分しか飲めなかったのがきっかけでした。

その頃は体重が70kgまで上昇しておりこれが原因かなと思い、次の日からジョギングをはじめ

めました。そして半年後には60Kgまで体重を落とすことができました。今は休日に、距離としては約11km洲原池の外周をゆっくり走っています。そのおかげで今は楽しくビールを飲みながらゴルフを楽しんでいます。

以上、お話したような人生をおくってきましたが、私自身、今回の自分史をお話するにあたり、いろいろのことで自分を振り返ることができ非常によかったなあと思いました。

そして、いろいろな人に出会い、いろいろな人にお世話になってきたなあ、とつくづく思いました。

最後に、サラリーマンの私がこうして歴史ある碧南ロータリーに入会でき、皆さんとロータリアンとして活動ができることも何かの縁であり、短い期間だと思いますが大切にしていきたいと思っています。今後ともよろしくご指導をお願い申し上げ、私のお話を終わりたいと思います。どうもご静聴ありがとうございました。

次回例会案内 10月6日（水）「米山この絆」

会員 榊原義嗣君